

# まちづくり用地利用計画案まとまる

一言会と鳩の街商栄会が共同で検討

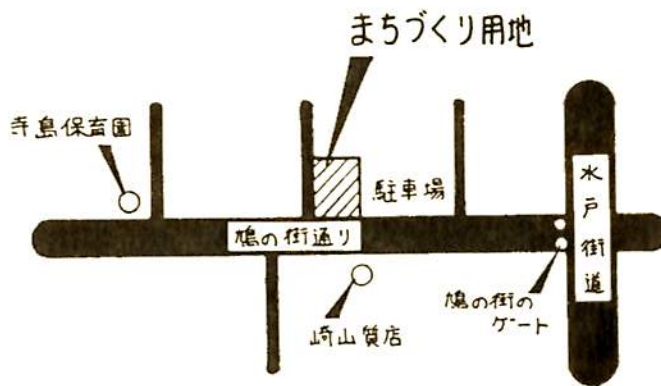


検討会の様子

鳩の街商店街の一角、東向島一丁目25番にあるまちづくり用地の利用計画案がまとまりました。

商店街の中の用地ということ、鳩の街商栄会の協力を得て検討を重ねてきた結果、建て込んだ商店街にゆとりのある空間を生み出す広場として整備することとなりました。

区ではこの提案を参考に実施設計をする予定です。



## 使い方は工夫しだい

一言会ではこの用地を「一言問の道（一寺小と言問小を結ぶ防災道路）づくりのモデルパーク」として位置付けました。具体的なイメージは、道を広げて歩き易くする、密集地域内の空地とする、路地等を設置する、などです。

一方、商栄会からは「イベントが行なえる広場が欲しい」「催し物などのポスターを貼れるようにしたい」

「緑が多い休憩所のようなものを」といった意見が出されました。

これらの意見を形にしたところ、板塀とフェンスに囲まれた広場になりました。板塀は掲示板に使い、フェンスは鉢植えを吊したり、ツタをからませたりして緑化に使えます。子供たちの遊び場として、また、買い物ついでの憩いの場としてなど、色んな使い方を工夫してみてください。

### 路地第5号基

庭柵と植込みの憩いの場  
ポンプは前面に独立

鉢植えを吊したり、  
ツタをからませたりして  
緑化ができるフェンス

掲示板として使える板塀

電話ボックス

道路拡幅

道路中心線から2m後退  
さらに幅1mの歩道部分

整備イメージ図(実施設計では一部変更になることがあります)



安心してつるおの下の町「川の手」をめぐって

# 防災まちづくりら瓦版

発行ノ一言問を防災のまちにする会

1991. 12. 1.

# 寺島図書館前の用地の利用方法

## 通り全体の問題を考えながら検討開始

地蔵坂通りには現在、一寺言問の防災まちづくり用地が2か所あります。昨年取得した寺島図書館前(一三七㎡)と東向島一丁目こども広場として暫定的に利用している大宮湯跡地(四〇五㎡)です。この他にも、墨田区開発公社が取得した塚本紙器跡地(五七〇㎡)があります。

一言会では、通りには交通問題など様々な課題があり、また公共施設の建て替え意向も伝えられていることから、通り全体の問題を考えながら、用地の利用方法を検討していくことになりました。そこで現在の担当理事(東向島一丁目中町会、東向一南町会、東向島宮元町会)に、わいわい会の理事及び地蔵坂商店会を加えて、検討会議が発足しました。10月23日の会議では、「商店街活性化の起爆剤になるような施設が欲しい」(商店会)「用地を活用して小学校と図書館を合築したらどうか」(わいわい会)「代替地や仮店舗用地としての利用方法も考えられる」(町会)など様々な意見が出ました。



## 私がまちづくりスタッフです

その24

向島五丁目  
阿部洋一さん  
(一言会・理事)



向島五丁目東町会の庶務を20年。町会の書類はほとんど阿部さんが印刷する。紙面づくりも手慣れたもので、以前は町会の瓦版も出していた。

「一日子供の顔とみないと淋しくてね」背が高く、いつも背筋をきりりと伸ばし、真っすぐ眼をみて話す。すずらん勉強会の塾長が本職。

結婚当初、昭和42年からしばらく、柏市のはずれに住んだことがあった。近くの家で火事が起り、通報しても30分もたないと消防自動車がない。隣り近所それぞれバケツリレーで火を消した。道普請、とび掃除、街路灯、用水桶づくり、お金を出し合い、みんなで協力した。自分の身は自分たちで守る。町会の原点、防災の原体験と身を持って経験した。現在、少年部部長。毎年子供とふれあいピクニックを企画し、今年三浦海岸バーベキュー大会を70名の参加で無事成功させた。

一言会には、たまにしか出席できないが、必ず存在感のある発言をする。先日、収穫祭をした向島有季園の名付け親。季節の有る園、まちづくりに勇気を与える、有機農法と、絆で夢のある名前をつけて下さった。

3人のお子さんはもう大きい。来年、銀婚式をむかえ、そろそろかみさん孝行を実行しなければと考えている。(純)

いちごのことば  
**一寺言問 / 防災まちづくり瓦版**  
第26号 平成3年12月1日発行  
編集 / 一寺言問を防災のまちにする会・編集局  
高原純子・若木菊枝・木田佳男・木田文代  
編集協力 / マヌ都市建築研究所  
発行 / 一寺言問を防災のまちにする会・事務局  
墨田区吾妻橋1-23-20 Tel (5608)1111



「土を掘ったら、おいもが出てきた……ん？」



「おいもに虫がついてるよ！」  
「有機農法だからだね！」



「虫が食べるんだから、  
それだけおいしいのかな？」



## 第4期利用者募集

向島有季園の第4期利用者を募集します。利用期間は3月1日から翌年の1月31日まで。路地尊の水を使った豊かな緑づくり、みんなが見て楽しめるような緑づくりを約一年間責任を持っておこなえる方を求めます。希望者は宮製はがきに応募券を貼り、住所、氏名、電話番号を記入の上、一言会事務局に申し込んで下さい。1月31日消印有効。2月に公開抽選会を開いて選びます。抽選日は応募者に追って通知します。なお、利用対象は一言会地区住民に限ります。利用者は一言会と利用協定を結び、有季園の管理運営に携わっていただきます。利用者会議に必ず出席すること、近隣に迷惑をかけないこと、利用者本人が責任を持っておこなうことを約束していただきますのでご了解下さい。

申し込み先は  
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20  
墨田区都市整備部開発促進室内  
一言会事務局「向島有季園」係  
TEL (5608)1111 (内3913)



## 11月9日、向島有季園で



収穫したさつまいも  
「グミアツ」

焼きいも

# 収穫祭

## 有季園から上がる白煙

11月9日正午過ぎ、向島有季園から白煙が上がりました。「何だろう？」近所の人マはいぶかし気な顔をして、三ツ五ツのぞぎに来ます。

白煙は一本の煙突から出ていました。煙突の下には赤黒くさびた鉄の箱、その足元にうずくまる男がひとり。「何をしているんですか？」不安気にたずねてみます。その男はニッコリして「有季園でさつまいもがよく育ったからね、利用者が一言会を招いて焼きいもをやるんですよ。」

2時間後に再びのぞいてみますと、大人と子供合わせて30人位がいも掘りにいそいでいます。ひとしきり掘り終わると、一言会の理事・阿部さんの司会で、嶋崎町会長のあいさつと利用者代表・木村さんのあいさつ。「一言会からお借りしている有季園で沢山のおいもがとれました。感謝を込めて、皆さんにも味わってもらいたいと思います。」

箱のフタを開けると小石がびっしり入っていました。小石をかきわけると、おいしそうな焼けたおいもが出てきました。そのおいもをほおばりながら「おいしいね。買ったおいもよりも甘いね。」「来年はいろいろな野菜をつかってバーベキューをやろうよ。」と、歓びの音が響いていました。

秋の穏やかな風下がり、向島有季園界隈をさわがせた煙の犯人は、とってもおいしく楽しい収穫祭でした。



掘ったおいもは、路地尊の水で洗って……



早く焼けないかなあ……



うん、おいしい

## 一言会 区長に

### 支援の継続を要望

7月16日、一言会の会長・副会長が区長と会い、一言言問の防災まちづくりの支援の継続に関する要望書を手渡しました。

昭和60年度からスタートした一言言問の防災まちづくりは、東京都の防災生活圏モデル事業によって進められてきました。この事業が今年度をもって終了する予定ですが、これまでの実績はまちづくりのほんの一部にすぎないし、一言会がめざす「次世代に誇れるまち」にはまだまだの感があります。一言会はモデル事業終了後も組織を存続し、まちづくりの推進に努力していく予定ですが、そのためにも引き続き、区に支援して欲しいことを要望



しました。また併せて区から都に対して支援の継続を働きかけて欲しいことも要望しました。

この後7月18日、墨田区は品川区、目黒区とともに東京都へ、「東京都防災生活圏モデル事業に関する要望書」を提出しています。

## 一言言問が注目されている!?

今年は、一言言問のまちづくりがマスコミや各方面の注目を集めた一年でした。前号で紹介した百花園通り「寺島のまち」と会古路地の完成、そして日本建築学会文化賞の受賞はテレビや新聞で大きく取り上げられましたが、その後も取材、見学、シンポジウムなどの依頼が殺到しました。対象となったのは一言会の活動ばかりではありません。町会や消火隊の活動も注目され、宮元町会が会古路地で行った防災訓練などもテレビで紹介されました。

地域の特色や生活環境を大切にしようという風潮の中、下町のよさを生かして防災に取り組む一言言問のまちづくりが評価されているようです。



平成3年度・東京都コミュニティ・リーダー交流集会 第1回目第3分科会  
「下町の景観保存とまちづくり」  
(10月15日 東京都生活文化局主催)  
で、基調報告を行う、佐原滋元理事



8月28日に放映された、テレビ東京「いき・絆・タウン すみだ」の撮影風景——一言会の活動



8月22日に放映された、日本テレビ「ご存じですか 防災ミニ百科」の撮影風景——宮元町会の防災訓練

## 向島消防署 秋の火災予防運動

一言会を含む一〇一団体・個人を表彰

向島消防署は、秋の火災予防運動に先がけて「平素から火災予防に尽力している」一〇一の団体及び個人を表彰しました。一言会も「防災思想の普及に積極的に協力された功労」ということで表彰を受けました。

表彰式は、11月7日、東向島

の東武博物館ホールで行なわれました。一言会からは須賀事務局長が出席。同じく表彰を受けた町会や消防の関係者ら約二百名が見守る中、向島消防署長から感謝状を受け取りました。

表彰式の様子



向島消防署長から感謝状を受け取る須賀事務局長



## 新しい理事 5人

一言会の理事に、向島五丁目西町会など3町会から5人加わりました。これは今後の大きな課題に対応するために増員したもので、これで一言会の理事は総勢31名になりました。

向島五丁目西町会：高田 弘  
向島五丁目東町会：阿部洋一  
東向島一丁目中町会：飯田 實  
青木隆雄  
渡辺俊男  
〔敬称略〕

## 一言言問の記録ビデオ制作中

ナレーターは地元の室井琴桜さん

墨田区では、ただいまこれまで撮影したビデオテープを集めて、一言言問のまちづくりの記録ビデオを制作しています。ナレーターには地元住民でもある講師の室井琴桜さんを起用し、一言会のメンバーにも登場してもらって、路地尊や寺島の道などこれまでのまちづくりの成果や一言会の活動などを紹介するというもの。題して「まちづくり講演 一言言問の防災まちづくり伝」。今年中に完成する予定です。VHS方式で、所要時間30分程度。